

各都道府県における日本青年国際交流機構の活動の状況

	(1) 会員参加者数	(2) 一般人参加者数 (うち外国人)	(3) 日本人事業 参加者数	(4) 一人当り影響者 数(2)÷(3))
平成21年度	2,330人	8,234人 (394人)	304人	27.1人
平成22年度	1,818人	11,620人 (902人)	296人	39.3人
平成23年度	1,683人	6,993人 (269人)	305人	22.9人
平均	1,943.7人	8,949人	301.6人	29.7人

※ 日本青年国際交流機構の都道府県組織が実施した活動について取りまとめたものである。個人としての活動等は除いている。

※ 原資料で会員か一般人か判別が困難なもの等は、本表の人数にカウントしていない。

※ これと別に、日本及び各国における地方プログラム等において、参加青年以外に本事業の実施に関わり、国際交流活動に関する人数は、以下のとおり毎年約11,000人である(内訳:ホームステイファミリー約5,200人、地元青年・訪問先等 約4,700人、実行委員等 約1,100人)(資料4-6)。毎年約11,000人の参加青年が約863.3人(3年間平均)なので、一人当たり約12.6人に国際交流を通じた影響を及ぼしていることになる。

## 都道府県における事後活動組織の活動状況(平成21年度)

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	2月9日～15日	レツツ円山	10名程度		10人	北海道IYEOの定例事業。一般参加者を交えて国際理解を深めることを目的としている。なお、今回はアプリ料理を作りました。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	北海道HIF	2月9日～15日	札幌市内	会員8名 一般参加者10名程度		10人	北海道での受け入れにあたり、札幌市内でのプログラムを担当。ワークショップと親睦会を行いました。
他団体の交流事業への参加、協力	世界を知ろう実行委員会	12月13日	北海道大学	会員5名 一般参加者30名 (うち外国人8名程度)	8人	22人	学生主催の当該イベントにて、国際交流・協力関連のNGOとともにブースを出展しました。
他団体の交流事業への参加、協力	実践交流会実行委員会	1月16～17日	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立大宮青少年交流の家	会員1名 一般参加者21名程度		21人	学生・社会人の生涯学習等にかかわる実践活動の関係者による交流会及び活動発表会。
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	6月7日(日)	エルプラザ	会員13名 一般9名(うち外国人3名)	3人	6人	会員及び在日留学生を含む一般参加者による親睦を目的として実施
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	7月11日(土)	エルプラザ	会員5名			前年度に引き続き、今年はモンゴルへ送付。事業概要としては、日本の学校で使用しなくなったリコーダーを、必要とするか外国へ送付するものである。20年度の総会にて複数年(2年程度を想定)に渡り、実施することとしており今年で2年目である。
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	7月18日(土)	Let'sアカンア	会員4名 一般1名(うち外国人1名)	1人		現在中国に留学中の会員が一時帰国した際に合わせて、中国の家庭料理教室を開催
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	9月27日(日)	北広島	会員6名 一般6名		6人	会員及び学生を含む一般参加者による親睦を目的として実施。
他団体の交流事業への参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	9月6日(日)	岩手県青少年会館	会員6名、 一般1200名		1,200人	親子ふれあい広場「親睦が原まつり」への参加、協力
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	10月24日(土)	岩手教育会館	会員20名、一般80名		80人	岩手県青年国際交流機構50周年を記念し「夢は生きているパワーの源」と題し、中村真衣さんによる講演会を行った。
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	11月14日(土)	岩手県青少年会館	会員35名、一般7名		7人	岩手県青年国際交流機構50周年を記念し、会員による記念講演会、経過報告、記念交流会を行った。
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	平成22年 3月13日(日)	いわて県民情報交流センター	会員13名			県内に在籍する外国人3名をスピーカークに招き、それぞれの国の紹介、生活様式の違いや日本で暮らす印象など生の声を聞き、お互いが語り合うことにより、相互交流により理解と友好の促進を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城県青年会議	4月25日	宮城県青年会館	会員2名			宮城IYEOが加盟している青年団体連絡会の総会に参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	地球フェスタ実行委員会	9月19日	仙台市国際センター	会員7名 一般多数 外国人1名	1人	多数	県内最大の国際交流イベントに初参加した。ブース出展し、広く内閣府国際交流事業や宮城IYEOの活動をPRした。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城県青年会議	9月26日	宮城県青年会館	会員2名			県内の青年団体の連絡協議会でもある宮城青年会議の理事会に参加し、他団体との情報交換を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	青少年のための宮城県民会議	9月30日	岩沼市華岩沼中学校	会員1名			「少年の主張」の審査員として、協力した。
その他 (国際理解講座)	福島県北地区JRC部会	8月4日(火)	福島県青少年会館 (福島市)	会員1名、一般30名		30人	福島県北地区JRC研修で、国際理解のためのワークショップ「船の中の大事件」を船つばサポーターの紺野先生(福島市立清明小学校)と菅野が実施。活発に話し合いが行われ、ロールプレイのまま発表があったり大変盛り上がった。一人一人の気づきがあり、実際の生活にいかす意見が目立ち、レベルの高いワークショップになった。
その他 (国際理解講座)	全国開発教育研究会	8月8日(土) ～9日8日(日)	第27回開発教育全国研修集会・仙台大会	会員1名、一般15名		15人	第27回開発教育全国研修集会・仙台大会の自主ラウンドで船つばサポーターの紺野先生と菅野が「船の中の大事件」を実施。意識の高い人が多く、短い時間の中でも積極的な意見交換ができた。
他団体の交流事業への参加	財団法人福島県青少年会館、 福島県青少年団体連絡協議会	11月7日(土)、8日(日)	福島県青少年会館 (福島市)	スタッフ:会員5名、 学生サポーター2名 来場者:1,000名		1,002人	「外国文化おもしろ館」として、世界の民俗楽器や民俗衣装を体感できる説明会。来場者对内閣府の事業の説明、船と翼の会ふくしまの事業の紹介、ホストファミリーの発掘に努めた。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク (福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松、ふくしま海外協力隊の会)	12月12日(土) ～13日(日)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員2名、講座参加者30名		30人	分科会の講座で、アシリエーターとして講座を担当。平成20年度「世界青年の船」船つばサポーターの桐田先生をともに作ったオリジナルワークショップ「地球幸福指数」世界一の「ハズアの」幸せの現在と未来を实践。相手の立場に立った援助、国際協力のみならず考えた。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク (福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松、ふくしま海外協力隊の会)	12月12日(土) ～13日(日)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員3名、全体参加者180名		180人	自主セッションで、当会及び内閣府の事業を紹介するブースを出展。意識の高い参加者たちと会のPR及び次年度のPRの派遣事業への参加者を募った。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	4月19日(日)	蓬萊学習センター (福島市)	会員7名、 一般:21名(うち外国人11名)	11人	10人	「蓬萊日本語教室」と「NPO法人ふくまかんと」の協力のもと、日本語教室に通う中国出身の皆さんには餃子と、日本文化センターで来日している韓国ベクソク文化大学の学生さんたちにはトッポキを教えました。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	7月5日(日)	郡山市勤労青少年ホーム(ユースフル郡山) (郡山市)	会員4名、 一般19名(うち外国人1名)	1人	18人	本物のイスラム料理を作り、味わうことを通じて、イスラム文化に対する興味と理解を深め、講師はJICA二本松のアラビア語講師サファン氏(ソリア出身)であった。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	9月13日 (日)	オオクラボウル、 吉川屋 (福島市)	会員6名 一般11名(うち外国人7名)	7人	4人	韓国大学生が5人、日本人大学生2人、高校生が2人など、フレッシュなメンバーがそろい、ボウリング、梨狩り、足湯とスポーツの秋、ふくしまの秋を楽しみ、交流した。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	12月9日(水) ～13日(日)	白河市、福島大学、こぶし荘(福島市高湯温泉)、福島市立清明小学校、仙林寺(伊達市)、ふくしまテルサ(福島市)、いわき市(ホームステイ)	会員9名、一般16名、小学生、 教員、保護者60名、 ASSEAY Thailand5名	5人	76人	船と翼の会ふくしまとASSEAY Thailandとの相互交流プログラム。テーマは「異文化理解」。今後、日本とタイ(両国)の友好親善をますます発展させるためには、互いの違いや共通点を知り理解しあうことが大切であると考える、今回は、広く一般にお互いの文化、習慣、価値観を知るということを目標に交流した。白河市を巡るための歓迎会、福島大学の学生とのディスカッション、料理交流、小学校での交流、お寺での日本文化体験、ホームステイ、異文化理解ワークショップを実施。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成22年 2月21日(日)	福島市杉妻学習センター (福島市)	定員:30名		30人	子どもたちの学校生活、家族、食生活、私たちが意外と知らないフィリピンの素顔を楽しく紹介してもらい、フィリピンの暖かいおやつを作る。メニューは「ギナンタンピロロ」と「トロロ」。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま ASSEAY Thailand	通年	福島県内及びタイ国内	-			福島県内のNGO「明るい社会つくり運動協議会」ふくしま地球市民ネットワーク」や県内の小学校の協力のもと、使い終わった小学1年生の黄色い帽子を回収し、タイの小学生に贈呈する事業。東亜船の出港でAsseay Thailandのメンバーに帽子を贈呈。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	船と翼の会ふくしま	10月12日(月)、 10月25日(日)	福島県青少年会館 (福島市)、 郡山市労働福祉会館(郡山市)	会員13名、一般13名		13人	「東南アジア青年の船」地方プログラム受け入れのための実行委員会開催。プログラムで訪問する県立あさか開成高校の生徒9人が実行委員として、教員2人がアドバイザーとして実行委員会に参加。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	船と翼の会ふくしま	10月6日(火)、 10月20日(火)	福島県立 あさか開成高校 (郡山市)	会員2名、一般50名		50人	「東南アジア青年の船」地方プログラムで訪問する高校の生徒たちに、事業を理解してもらう日効果的な交流ができるように、事前研修を実施した。アスプレーキング、国際理解ワークショップ、東南アジアについての説明、内閣府の事業の説明、「東南アジア青年の船」事業地方プログラムの内容についての説明ほか。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	船と翼の会ふくしま	10月29日(木) ～11月1日(日)	福島市、福島県立あさか開成高校 (郡山市)、郡山市及び周辺市町村	会員13名、一般100名		100人	日本・アセアン青年交流プログラム(県知事表敬訪問、歓迎会、日本文化体験宿泊、高校訪問、ホームステイ)
国際交流事業実行委員会	茨城県青年国際交流機構	12月12日(土)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員5名			茨城IYEO開催の国際交流事業開催のために実行委員会を開催した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	5月31日(日)	水戸市 茨城県青少年会館	会員4名 一般30名		30人	茨城県青年団体連盟の総会に出席し、昨年度活動報告と決算、今年度予定や予算を審議。
他団体の交流事業への参加、協力	実行委員会	8月30日(日)	筑西市	会員8名			茨城県筑西市で開催された「どすいべア(地域の祭り)」に参加し、茨城IYEOの活動のPRを実施した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	4月～9月	水戸市 茨城県青少年会館	会員2名 一般12名		12人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席した。4月～9月で5回開催。
他団体の交流事業への参加、協力	平成21年度茨城県若者塾事業実行委員会	5月～9月	水戸市 茨城県青少年会館	会員1名 一般8名		8人	平成20年度茨城県若者塾事業 一部実行委員会に出席した。5月から9月の間、隔週で開催。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	平成22年 1月16日(土)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員3名 一般約30名		30人	茨城県の青少年団体が一堂に会す、賀詞交換会を開催した。同時に、写真展を開催した。
他団体の交流事業への参加、協力	平成21年度茨城県若者塾事業実行委員会	平成22年 3月7日(日)	水戸市 茨城県立青少年会館	-			茨城県若者塾事業の第3回研修に参加協力した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	10月 ～平成22年3月	水戸市 茨城県青少年会館	会員2名 一般14名		14人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席。10月～3月の間に4回開催した。